夕刊 いわき民報
（発行所）平市田町48
いわき民報社
編集部 電381
営業部 電1222
昭和30年4月7日（木曜日） 第2722号
夕刊 昭和30年4月7日 第2722号
昭和21年6月1日 第三種郵便物認可
（月曜日休刊）（祭日の翌日は夕刊除く）
（1）

革新勢力の向背で 勝敗は決定せん

注目される馬目、野澤の一騎打

平市の県議選、自由党公認の馬目武之助候補に対抗して自由党を脱党し無所属を名乗つて出馬した本社々長野沢武蔵候補の一騎打の状態となつた、出馬を予想されていた革新派の統一候補岡出不二氏（東部産業KK専務理事）は未決定市政革新会の公認を求めたといわれる元神谷支所長神谷市郎氏は革新会では推さず八日中に出馬かどうか態度を決める、さて馬目対野沢両候補の一騎打ちがどの様な力合いを示めすか、馬目候補は県議二期をつとめ現職だけに仲々あなどり難いが衆院選挙時に同じ自由党の関内正一氏に対する運動に力をかさず、他党の候補に協力したという不徳行為や郷土民の期待にそう様な行績が殆ど人気低調の気味もある、たゞ一年を通じて行つているハガキ戦術が奏効し、その底力は隠然たるものがある、一方野沢候補は永年関内正一氏を盛り立て地元自由党には献身的な働きを続け、平市政にあつて土木係例を改正して土木ボス排撃に成功この勇敢な功績は深く市民の好感を呼び、さらに県議出馬に当つては一切を白紙に帰し無所属で名乗りをあげたという態度に対する好感も手伝い、新人で未知数ながらも期待されている

前回（昭和二十六年四月二十日）の県議選に馬目氏に対抗して佐藤源吉氏が出馬、当時市長選もからみ合つて複雑な戦をみせたが、有権者二万二千九百二十六名（有効投票一九、五九九）に対し▼馬目氏一万一千廿四票▼佐藤氏八千五百七十五票の得票だつた、今回は有権者二万五千五百台（旧市内）になると平選管委で予想しているので棄権無効一割台としても二万三千台をどのように獲得するかが問題野沢候補は新人だけに青年壮年層に主力を注ぎ、次期市長、市議選ともからんで活発な動きをみせ、ザット四千票と目される革新勢力の票がどのように動くかによつて当落の大勢が決するだろうとみられている

市政同志會座談會日程

平市政同志会の座談会日程、左の通り

▼七日午後七時 五丁目錦屋電気部二階、二丁目湯久会館

▼八日午後七時 稲荷町熱心湯 鎌田町草野昇二郎氏宅

水槽問題で 公開質問狀

平市青年同志会（会長遠藤二郎氏）では目下市民の話題になつている「ザル水槽問題」や「市政だより号外」の盛発について中立公正な立場から市政のあり方を究明するため、七日「市当局に問う」と題する公開質問状を議長市長に提出、その解答によつて幾分なりとも市民の疑惑を解消するため乗り出すことになり注目されている

神谷市郎氏 あす態度決定

かねて県議選の噂に上つている平市神谷神谷市郎氏は出馬かどうか八日には態度を決定すると語つていた

野澤候補者 事務所開き

電話も架設

県議候補者野沢武蔵氏の事務所開きは七日午後二時から本社ホールで開いた、臨時電話も同日架設した、番号は二一八五

養老園など慰問

常磐市社会教育委員は十日頃育ろう学校、整肢養護園、養老園などを慰問する、なおヒロポン撲滅を期し近く映画会を開く

駐在員會議

常磐市駐在員会議は八日午後一時から市役所で開き日赤募金などについて協議する

五年間連續完納

きよう優良納組長表彰式

平市税務課では二十九年度市税完納々税組合長（一年）百十五名及び五年間納税組合長を勤め連続完納した二十五名の組合長に対する表彰式を七日午後二時から公会堂本館に挙行した、平市には現在合併町村も含め納税組合が四百七十二あるがうち納期まで完納したのが以上の百五十組で納税総額二千四百二十九万七千八百十二円となつており、市税総額の三割を占めている、完納組合に対しては税額の百分ノ四が報償金として支給される、五カ年連続完納組合長次の通り

▼旧市内＝（五の会納税貯蓄組合）水竹政勝（宝成組）鈴木庫左右（第六区第一組）大平徳兵衛（鍛冶町東部第一）高田清二（上平窪新道下組）根本久光（月見町第四）小泉五郎（中平窪岩間）鶴田広蔵（中平窪八田）小野忠佐（田町西部）増子宮治（飯岡）内田節太郎、

▼高久＝（前西納税組合）高木徳良（共進）佐藤平（古川）斎藤義長（大和久）田中力（乙多）鈴木文弥（鶴ノ井）菅波金治（前原）箱崎謙寿（古屋敷）鈴木憲平（共栄）田仲庄作

▼赤井＝（赤井駅前納税組合）新妻貴代治（反町）草野儀四郎

▼神谷＝（中神谷第八納税組合）箱崎源之助（塩宮前第一）中野巳喜蔵（中神谷第十三）長嶋太郎（塩宮前第二）中野安吉

▼夏井＝（下大越上ノ内組合）坂本喜代松

選擧法の説明會

あす 違反皆無へ

平市青年同志会（会長遠藤二郎氏）では目下市民の話題になつている「ザル水槽問題」や「市政だより号外」の盛発について中立公正な立場から市政のあり方を究明するため、七日「市当局に問う」と題する公開質問状を議長市長に提出、その解答によつて幾分なりとも市民の疑惑を解消するため乗り出すことになり注目されている

公明選挙推進委員会（会長菅田三明会を開く、出席者は高橋上席検郎氏）では今度の地方選挙に当り違反を犯し郷土の名誉を毀損しないようにと明八日午後二時から平市公会堂日本間で選挙関係者と懇出席を望んでいる

一應ストを解除

日本水素で更に労使団交

貨金値上斗争をめぐつて四十八時間ストに突入していた磐城市日本水素労組は通告期限通り六日正午と同会を続けているが七日正午現在では未だ解決に至つていない

しだれ柳など植樹

線の羽根募金計畫も成る

平市国土緑化推進委員会は六日午後一時から市役所議事室に関係者五十余名、集まつて線の羽根募金につき協議した、二十九年度（募金高二十二万七百十二円）の決算報告に続き、三十年度の募金方法につき打合せたが目標二十万円とし各学校の募金目標を次の通り決め、植樹計画は

▼いてう五十五本（材木町、白銀町組植）▼プラタナス二十本（三十米道路）▼しだれ柳五十本（旧新川）▼吉野桜八十本（旧新川、鎌田山、城山、沼の内弁才天）▼ヒマラヤシーダー百本（各学校）その他（未定）

貯蓄に好成績

三団体に大臣賞

錦町婦人会貯蓄組合が優良貯蓄組合に磐城市泉農業協同組合が金融機関優良店に、平市大字赤井の岡田昌司氏（岡本ゴム株式会社総務課長）が貯蓄功績者に決り、十三日一万田大蔵大臣から賞状と記念品が贈られる

世界學童作品展

あすから平三小

平三小では世界学童作品展に出品した百五十点がユネスコから送附を願つて明八日から十日まで三日間展示会を開くが、世界的傑作品揃いだけに人気を博している

展示圃實績 發表會開く

石城郡農業改良普及員クラブ会（会長草野昇氏）では九日午後一時から平三小で世界学童作品展に出品した百五十点がユネスコから送附を願つて明八日から十日まで三日間展示会を開くが、世界的傑作品揃いだけに人気を博している

決算役員會

常磐市湯本信用組合（理事長松本久吉氏）は十日午後二時から事務所で決算役員会を開く

求人案内

四月八日現在
平職安所

【男子】▼集金人＝平市三五―四〇才通日定給二、〇〇〇円外歩合一年以上有験者、▼料理見習3平市一六―二五才住一五〇〇円前後、▼風呂番＝平市五〇―六〇才住一五〇〇円、印刷機械工＝常磐市三―五〇才通日収三〇〇円二年以上有験者、▼料理見習3平市一六―九才住一五〇〇円、▼配達夫3平市一八―三〇才住三、〇〇〇円前後、▼石工見習＝平市一六―一七才住一、〇〇〇円、▼製パン見習＝平市及び内郷市一六―二〇才住一、〇〇〇―一、五〇〇円、▼塗装見習＝平市一六―一八才住五〇〇―一、〇〇〇円、▼屋大工見習2平市一六―一八才住五〇〇―一、〇〇〇円▼家具工見習3平市一六―一八才住五〇〇―一、〇〇〇円、▼鍛冶見習＝平市一七―二〇才住一、〇〇〇円、▼消防士多数平市一八―二五才通官庁給与令、代採天多数北海道一八―三〇才住日給七〇〇円

【女子】▼女中多数郡内一八―三〇住二、〇〇〇円▼店員＝磐城市一七―十八才住一、五〇〇円、▼仕立工＝磐城市年令不問通歩合給一年以上有験者、▼縫工見習2平市一七―二〇通日収一〇〇円洋裁学校修了者▼織布工多数愛知県一六―二〇才住三、〇〇〇円

天気予報

七日

【今晩】南の風晩次第に海寒が多くなる

【明日】南東の風海寒、次第に本畝となり遅くなつて小雨模様海上今晩は多少風波がある、明日次第に風波が高くなる

あす御還幸

宮城県で植樹祭をすまされた天皇、皇后両陛下には、明八日午後二時二十九分平駅着、五分間停車で還幸啓される、同日も五日の奉迎同様に盛大な奉送を行う

求職も縣下一

求人開拓大々的に

失業者に潜在失業者を加えれば三万人を上廻るといわれる（平職安所調べ）石城郡の二十九年度末（三月末）の現況を平職安所の窓口を通して見ると求職者数は県下一千八百三十七名（炭鉱関係四千五百九十七名）郡山一万四千七百五十八名、求人数は平一万八百一名には失業者就労救済のため三十年度県内有数の工業都市の郡山職安所と比較すると、求職数は平一万七千八百三十七名（炭鉱関係四千五百九十七名）郡山一万四千七百五十八名、求人数は平一万八百一名数は県下一を示めているが就職決定者は郡山市より悪い状況にある

お花見は お家族づれにてドウゾ
団体で予約はお早目に…
松ケ岡公園内電二三六
松ケ枝和

御散策と御花見には 是非 江戸川の 壽司と料理辨當を
才槌小路店電一〇二
紅小路店 電二四五六

生徒募集
初等科 中学一、二年程度
中等科 中学三年、高校一年程度
高等科 高校二年以上
平市南町（寫八六四）三浦英語塾

お花見のお供には ゼヒ花見ずし
予約を承ります 折詰一〇〇円から
さかえ
平市駅前電988

整形外科 外科 内科
金成醫院
金成桂一
平市鎌田町一二電話八二六番

女店員急募
一、資格＝高校卒
一、年令＝二十才から二十五才
希望の方は履歴書持参の上四月八日までに藤越洋服部へお出で下さい
藤越洋服部

花見折詰
予約ご注文承り中
魚折 120圓から
壽司折 いろいろ
（ちらし 五目 稲荷 のり巻）
幕の内辨當
◎折詰見本各種ございます
平市 平和通り
新鮮の魚清
電話六三三

平市南町電九六〇
草野ミシン商會

六候補が獅子吼

賑った四倉町長選演説會

四倉町長選挙もあと四日に迫った昨六日、午後七時から四倉町小学校講堂で町長選挙の立会演説会が行われた、聴衆は二千五百人（選管調べ）にのぼる盛況さで豊田、木田、門馬、阿部、吉田、鈴木候補の順に制限時間十五分を一杯に使つて熱弁をふるつた、聴衆者からはヤジらしいヤジも飛ばず案外静粛だつた、若い女性の顔などもやく二割ぐらい見られた、各候補演説概要次の通り

豊田美孝氏

一町二カ村合併の初代町長に課せられた最も大切な使命は合併に際して先輩各位が合併の根本に基いて作られた四倉町建設計画を如何に忠実に有効に遂行するかにあると信ずる、このことが今回私の出馬した根本の理念であり長い間の念願でした、町建設五カ年計画とはどんな内容のものであるか、五カ村計画を遂行するためには町財政の確立が一番大切なことと思います、頭初予算は総額四千七百万円、議会費二十九年度三百七十万円、三十一年度には九十万円減加はすさまじいものがあつた、炭鉱界では不況乗切りのため昨年末から入員整理斗区の縮少による企業整備を行つたため、約手支払期に当る本年三月には石炭需要最盛期の経営経費が相当額縮減されたため漸く未払賃金の支払能力が出て来たことが主因となつている、このほか各炭鉱の出炭高が昨年末ほど激変がなくまがりなりにも企画生産が出来る様になつたためと見られている

これが問題だと思います、現在特別職にある前二役据置のまゝ一年間の横すべりによる経費は二〇〇万円、前職員八十名の給与を二万円として賞与を含め一千五百万円残額を物件費にしても新町長外二名分に百万円を見込めば二千三百万円となり七百万円の減額は夢の様な話です、と町の経済確立と町発展の国県補助金獲得を述べ抱負として二、町民税の軽減、一、漁港修築、一、庶民住宅の建設、一、商業の振興その他を述べた

木田織江氏

私の政治方針と致しましては第一に業港整備の問題であります、百万円、三十一年度には九十万円減これは議員数が来年度に半数になるからです、役場費に於いては二トン級の船が自由に出入出来る様な十九年度二千二百万円、三十年度、漁港を作り町の繁栄を計り度い、一千五百万円で七百万円の減額こ二、町民の住宅設備、三、工業工場の誘致、工業工場とは石炭と石灰石を原料としたナイロン並にビニール製造工場であります、四、文化の向上、社会教育施設と学校の修繕改善、五、観光事業の整備は抱負と政見の一端にすぎませんが政治は生活の一端です、まず生活の安定と皆様の福利増進のためまい進したいと思う、幸い私は健康で、何時も堪られる自信と信念があります、二十年終戦となり私は村長を退職、追放になりましたが今日迄私は精神の修養をして来ました、私には県当局、中央官界、財界に先輩朋友が沢山おりますし、現在では木田を要望する時となつた、この五尺の体で働く時となつた、この信念と抱負をもつてかんぜんと私は立候補をしたので

阿部崇順氏

私は村長現職中に町を育成するにおいて基地としては八戸、塩釜の二港を決めたが北海道にも一カ所を増やすべく目下交渉中、この出漁は襄退しつゝある内地底引網漁業の新開拓ケースとしてその成果は有望視されている

漁船の選定に移り吉田義さん所有の第二昭和丸（四〇トン）滝口俊夫さん所有の稲荷丸の二隻の決定を見ており、小名浜、江名両漁協組でも近く選定の上十日までに平水産事務所へ報告する

なお出漁船は主なる根拠地を母港

の金を要する私は現職中一千二百万円の黒字にした又千軒平ダム工事も反対されたが現在に至り着々

門馬倉次郎氏

町村合併に依り大きな四倉町が生れた町を発展させるためには第一に人の緩和をモツトーとした民心政治であります、私は町民の福利増進を念頭に行政に当り度いと思う、五カ年計画は皆様に負担のかゝらない様完遂しなければならない、第一築港の改築が行い外貨獲得をし町を発展させ度い、第二国民健康保険、第三観光事業、第四商工会の発展充実、第五農道の整備、第六教育行政と町行政の一致、以上であります

吉田壽三郎氏

私は前回皆様の厚い同情があつたが私の不徳から落選しました、合併したので又皆様の前に御同情を仰ぎます、私は過去二十年町議員として席をけがし常に皆様が待望している明るい住みよい町を作りたいと念願しています、一、漁港修築、二、庶民住宅建設、三、農山部の治産治水対策、四、農地改良、五、国民健康保険、六、遺家族保護法、私が立候補した事は私の政策を実行するためですどうか一票を…

鈴木幸次郎氏

今度の町長選挙は如何に重大であるかは何人も御存じの通り、町を発展させるために一番関心を深くしているのは一、漁港修築、一、漁民会館設置、一、庶民住宅建設を実行して見たい、政治家は雄弁でなくてもよい、皆様の云う事を実行するのが一番大切と思う、鈴木をお願いします

十日の投票日には私とは云わないからよく判断して一票を願います

未拂四千六百萬圓

三月末　前月より七百万圓減

平労働局調べによる二月末現在の未払賃金の増

のもので、漁場はエトロフ島沖合でメヌケ専門に四月二十日から十一月十五日までの指定期間中に底引網漁業に従事する適格船は無線、受信機及び漁群探知機の装置を有する四十トン級の百六十馬力以上の底引漁船となつており、中の作漁協組では早くも

反當六千貫收量

牧草改良地は成功

石城酪農振興を目指し昭和二十八年から二年間研究試験されて来た牧草改良指定地にこの程反当六千貫を収穫する好成績を収めた酪農振興の第一歩は成功した石城郡では二十八年九月初旬好間村大字北好間字山の坊四〇鈴木健つて二年目にはまれに見る好調な成育に成功、このほど一区から反市民を牧草改良模範地指定者に指定し、同市所有地二百四十坪を一区百四十五坪の三区に分けオーチャードグラス、イタリアングランス、レツドクローバー種を同月二十五日播種改良試験の指導と同氏の努力によるもの

各港一隻ずつ

南千島漁業割當決る

県水産課では水産庁がこのほど発表した南千島沖の中型機船底引網漁業の試験操業出漁船の本県割当数六隻に決き各浜別の割当を急ぎ

試験操業は昨年に継ぎ二年目

北目短歌會

十日に開く

四月北目短歌会は十日午後一時から二時半まで平市北目町二〇松村湾宅で開く、近詠一首八日まで松村宅迄附、会費三十円

長橋町區長決る

平市長橋町親和会では六日性源寺で総会を開き区長選挙を行い橋本徳治氏を選んだ

勞働教育映畫

二十五日から

県労政協会石城支部主催の三年度第一回労働教育映画は二十五日から五月十四日まで行われるが、平労政事務所では各事業者の申込受付を二十日で締切る、映画は「お母さん」新東宝「愛妻物語」大映「斗魂」松竹

ズリ山を仰ぐ子供達

泉川秀雄【119】

「そうなの」

「なんじやない…？」

「届けて頂ければいゝの」

「そうかい。じや出かけるだかなし」

嘉し千歳の至急の依頼にこの小使婆さんも黙つて千歳より渡された紙片を受け取り部屋を出て行つた。

この小使婆さんは瘸まれゝば嫌とはいえない性分のお人好しであつた。思爽で然も先生方のいう事を笑顔で用を足して呉れるという隙日なのない人である。

だから先生方からの評判は頗るよいというにもあながち嘘ではない。千歳はこの小使さんの後姿に祈りに似た気持を持つて見送つたこの小使婆さんは小刻みに足を

警察への依頼状であつた。この紙片を手にして小使室に入つた。

「先生、なんだです。大分、あわてだなし、寒かつぺから火でも当たつたらよかんべだし、ほらほら」

この小使婆さんはなんでも東北は秋田も山奥の部落に育つたというだけに言葉使いも妙になまりがあつて始めて聞く人には面白い。

「先生だし、お茶つ子でも喰べだなし」こう云つて器用にもお茶をすゝめた。

「はあ、でも」

「そうじやろうがな。ゆつくりお茶つ子でも喰べられだし」

「私、今忙しいの。ねえおばさん、済みませんがこれを至急警察署へ届けて欲しいの」

「警察署…？」

瀬ばせ乍ら千歳よりの一通の紙片をさも大事に持つて警察署へ急いでいた。急いでいたというより先刻の先生の表情を思い浮かべ乍ら非常に大事な用件らしいと感ずいたらしいのである。この使命を果たす事は小使婆さんの責務でもあつた。単純な考えより大きな仕事をしているのかも知れなかつた。

やがてこの一歩一歩は警察署へ近づいて行つた。自分の持つている一枚の紙片が今日の社会の重大な秘密を解く鍵でもある様な少なくともそんな気がしてならないのだ。

だからこの小使さんは一日一日の生活を否もつと些細な行動でも意識的感覚の下に処理して行く。いわば典形的なきちようめんな性格があつた。この社会で小使いという職業に対して誇りを持つて臨んでいるのであつた。

やがて警察署の玄関前に来ていた。

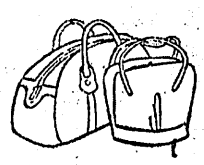
「御免だです」小使さんはこう云つて立つた。

「御免だです」小使さんの挨拶に署内の警官達は一斉にこの婆さんの方を振り返つた。

この署に訪ねる人の来るのは珍らしくはないから至極物珍らしくはなさそうである。

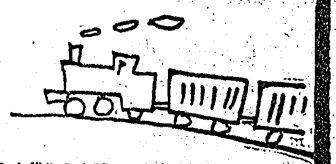
この署は案外新らしく灰色のかべが落着いた感じを与えている。その外とりたて、珍らしいものはないがたゞ、二十外来者の眼を引くのは署員の人々の机に備えつけられている花が生気を放つている事である。

春　旅行シーズンがまいりました



ホロ地ボストン
ビニールボストン
オープンケース
スマートケース
ビニール大鞄

革カバン
トランク
ギヤジット
各種陳列



カバンと袋物の専門デパート
平駅前
TEL.981
コンダ

アラという間にヨゴレがおちてブスギは一度でよいしかもこれまでの粉石鹸の倍洗える―重宝お徳用な化学新洗濯剤です！
一〇〇瓦八五〇円

代理店　大一屋　平電一三

伊達巻はんぺん　浦鉾　蒲寅　平市二丁目

調髪はサッパリ　平市南町四一

洋服は高島屋　平市南町　大和田呉服店前

眼科　明雲堂眼科醫院　町裏番田四〇九　仲町六番　市かく平ひ竜　医学博士　新妻幸男

PEARL
佛蘭西の味をパールで
あたたかいお部屋でチーズの利いたマカロニスパゲット料理如何ですか？
シューマイ・ワンタンなど用意いたしております
この味この雰囲気ぜひお味い下さい
レストラン　パール
社長　金子松男
平市三田小路電1388

さくらばかりかお顔もパッと
桜はパツと三分咲き。パツとしたお化粧のコツは花藤サロンでどうぞ。会得下さいいつも満員でお待たせしましたが明に一台美容椅子を増備いたしましたから精々ご利用をお願いいたします
○フレンチパツク一五〇〇円
○資生堂パツク四〇〇〇円
○テルミーパツク三〇〇〇円
藤越　平市小名浜

各港を訪ずれ交歓
新鋭磐城丸に同乗記

去る四日竣工式をあげた新鋭遠洋漁業指導船磐城丸（四百七十五トン）＝船長石井保さん（三四）＝はひろく県民への披露の意味をかねて六日磐城市小名浜を出港、中之作、江名、四倉各港を歴訪、各港で地元民と交歓、同日午後無事小名浜港に帰ってきた、以下は同船の同乗記である

この日グリーン地に会津磐梯山を配した〝水産福島〟旗などで満船飾した磐城丸は小名浜港三千トン防波堤の両端に純白な船体を横づけ市、漁協組合等関係者並びに一般市民およそ七十名の乗船を許し約二十分間上した四倉港まで披露航海の目的で午前九時十九分出港を告げる汽笛とともにゆるやかに離岸した、勇壮な軍艦マーチがレコードでかなでられる、硫安積込作業中の英国貨物船アドミナルハーデー号（三千トン）からも見送りの手が振られ遠くこのまま漁場向け処女航海の途につくような盛大な歓送を受ける、石井船長の指図通り富田二航士が操舵にあたる

（写真は見学者で賑う磐城丸、江名丸より乗り移る見学者たち）

操舵室の英国ケルビンヒューズ社製レーダー一二〇、スペリー磐城丸の右舷に横づけて乗船、磐城丸船内をつぶさに見学するなどマイナージャイロコンパス海図室のローラン、旋回窓が特に見学者の目をひき近代的設備を網羅しておるのには感嘆の声がシキリ、船内天井にはすべての新鋭器械を結ぶケーブル線約四十本がよく整理されて張られている

五分間ほどゆるやかに走航して灯台前約三百米附近で富田航海士が速力計の針を全速力（十・五ノット）に持って行く、磐城丸が心なしか幾分右舷に傾ぎき気味、石井船長が「人の重みじゃないか」と微笑み顔で語る小波が多少立つ程度の波だが赤灯台を過ぎるとさすがに大きなウネリに変る、南東に向け約二時走った沖合で中之作港に方向をとる、電気露出計に似た自動操舵装置に切替える、十時中之作港より一・五浬の沖合にストップ、汽笛を吹鳴する、来訪を待ちわびていた中之作、江名の約六十名の地元関係者が三回にわたって江築丸（二十三トン）に便乗江築丸の右舷に横づけて乗船、磐城丸船内をつぶさに見学するなどやかな交歓風景もみられた、風力が十米前後に強まり前上甲板が波浪のシブキに見舞れ、スブぬれになる見学者も出る騒ぎ、いよいよ最後の訪問先四倉港が目の前に迫つて来る、時正に午後一時、予定より二時間ほど遅れて沖合に着く番組、出演者は左の通り、振付は花柳登代蔵師

▼平小唄＝和子、君江、春駒、春夜、松美▼奴さん踊り＝あけみ、春爾、れい子、金子、絹代、松千代▼おてもやん＝豆千代、福丸、ひろ子▼お富さん＝美代子、小紅、和美、けい子▼願次喜多音頭＝とみ子、久菊、久子、松太郎、かきつぼか全員

▼八日　釈尊降誕会花まつり（公会堂）

▼八日、十一日　芸妓手踊（公園舞台）

▼九、十日　演芸（公園舞台）

▼十七日　子供博みどし（町内各区）

▼十七、十八日　小鍬倉神社祭典（境内）

▼十七日　磐城地区庭球大会（市営コート）

春のおどり
あすから御披露
平櫻祭行事

平さくら祭に松カ岡公園特設舞台で八、九の両日昼夜二回づつ春のおどりをご披露する平料芸組合の皆さまの練習ぶりをのぞいてみた

火力發電の誘致
古川氏が、狀況を語る

低品位炭を利用する一大火力発電所は果して植田町に建設されるであろうか誘致運動に主力を注いでいる古川俥一氏は左の様に語つた

今や電力は水力よりも火力になつて電力界に大きな役割を果しつつある植田へ建設されんとしている火力発電所は主体は常磐炭鉱と東電KKも投資家として一枚加わるかどうかである即ち五万Kwの発電所を建設するには最少限度二十億十万Kwの一大発電所の建設には遡くとも六十億という大資本を要する現在計画中の規模は七万Kで一カ年の消費量（石炭）は三十五万トンと見なされ将来十万Kの見込み、処が現在の炭界は高品位炭は案外売れ行きが悪く低品位炭が寧ろ羽が生えて飛ぶという珍奇な現象を呈しているだから発電所が出来た場合は増産に拍車をかける事になつて不振勝ちの中小炭鉱は急激に活況を帯びる事は論を待たないが前述の通りばく大な資金を投じて果して採算がとれるかどうか且下緻密な調査を進めているが既に適当地と目されている植田字岩間地内（田面地帯）に鉄道引つ込み線の実現も終り工場敷地買収の段階に入いる程度に進展している故にこの際地主は町永遠の発展のために大乗的心構えで協力を切望せずにはおられないと実現の可能性を強調していた

入水祭に青年水死
賢沼で行事中にこの惨事

昨六日夜の平市豊間沼ノ内弁天の恒例行事賢沼の入水祭に参加した青年が寒さの為沼の途中水死するという事故があった

入水祭は午後七時頃から始まり青年約五十名が参加したが午後九時ごろ平市豊間町漁磯ゲタ職鰐部敏男さん（三）等三名が弁財天に供える榊を取りに幅五十米の沼の向う岸に取りに泳いで渡り榊を取つての帰る途中、寒さのため鰐部さんは心臓マヒを起し沼の内に沈んでしまい豊間青年団、消防団五十名さんの顔を被回殴打、全治一週間の傷害を与えたもの

傷害で擧る

四倉町警部補派出所では六日午後四時ごろ四倉町字狐塚二〇一馬車業山野辺正蔵（三）を傷害容疑として取調べている、山野辺は六日午後四時ごろ四倉町大字上仁井田酒類販売業ますごろう商店に於いて飲酒中、石城郡三和村字合戸馬喰爲人木村傳蔵さん（四）にさいなことからいんねんをつけ木村さんの顔を被回殴打、全治一週間の傷害を与えたもの

眞性赤痢

常磐市湯本字八仙三八大槻ミサオさん（三）は六日午後十時真性赤痢で湯本病院に隔離された

娘さん家出

五日午前十一時ごろ好間村北好間栗木平十田村剪三郎さん（五九）四女アイ子さん（一）は家人の留守に郵便通帳を持出し好間郵便局で六千五百円を引出して家出した、同人は前にも二回ほど家出をしたことがある

常磐教委選の構想
無競爭工作の動きも見える

五日午前十一時ごろ好間村北好間栗木平十田村剪三郎さん（五九）四女アイ子さん（一）は家人の留守に郵便通帳を持出し好間郵便局で六千五百円を引出して家出した、同人は前にも二回ほど家出をしたことがある

常磐市教育委員会木村、日野、大に行われる予定である、果して今回はいずれが名乗りをあげるだろうか、これも市民注目の的となつているが、この選挙は大選挙区制をとるので人選には慎重を期して選挙を行うことになつたが、選挙期日は市議選の四月二十日に同時に行う、構想としては旧湯本側から二名旧磐崎側から二名の四名選出があり、現市議鈴木源太郎氏が市議を辞して出馬するという話も出ている、が現在は鈴木氏自身は出馬しないと言つておるが、木村、日野両氏はまだハツキリと意志表示はしていないし、両者で譲りあつている点もあるが、日野氏の線が非常に強く浮き出されているから最後的には日野氏に落着くので はないかと見られる公算が非常に大きい、町から日野氏一人の出馬だと無競爭になるが実際問題として選挙は無競爭選挙はぞくぞくあり得ないのではないかと見られている

どうなる公約問題
愈よあす常磐市會協議會開く

矢吹市長の辞職の公約問題を追究する常磐市会協議会は七日開くはずだつたが、矢吹市長が急拠上京したため八日午後一時から開くことになつた、この辞職公約問題はすでに市民の大きな注視のまととなつているだけにこの日の協議会は秘密会とせず公開することになつているので傍聴者は多数押し寄せるものと見られている、なお協議会の結末如何により議会側で声明書を発表することにもなろうしまた市民大会も開きあくまで「公約厳行」を追究せんとする気配も見えている

三丁目に大アーチ

平市三丁目商店会では三十米道路小松屋物店と横山商店との間に長さ十二間の大アーチを三百七十万円を投じ五月初旬に着工するとなり東京電飾の翁岡と決つた竣工は六月末、この大アーチは七色ネオンで平市の随一のものとなる

★正札て良い品を買いましょう！★
「正札運動」全國賣出し
正札運動期間中千円お買上毎に感謝券呈上
補助券は全国日専連の店共通
特賞　一〇〇・〇〇〇圓…五〇本
1等５０００円…　５００本　4等２００円…２５０００本
2等１０００円…１０００本　5等１００円…３０００本
3等　５００円…３５００本　等外　空くじなし
（特賞は５月１０日東京に於て抽せん、1等以下は三角くじにて即時抽せん常陽銀行ギフトチエツクにて差上げます）
専　個用のマーク
スプリングセール！
10万円特賞
4月10日まで
主催　日本専門店會連盟 平専門店會

足あとの道 (2)

立花恵子 作

二

「先生、ひどいわ、センセ…」「私達のこと捨てゝ行っちやうんだもの」

「五年生なんてキライ、私達の先生取つちやつて…」

めいめい分らずやの恨み言を述べ立てグスングスンと五、六人のオカツパ頭がすゝり泣いている。旧受持の生徒達に入口まで追いすがられて来た清水美子は、ほゝえんできてやつている。学校中で一番生徒に人気のある彼女は、色は黒い方であるが均整のとれた身体にピツタリしたグレイのスーツを着こなし、その発らつとした態度に何かしら健康的な明るさが感じられる若い体専出の先生である。

一昨年赴任してくるや、アッサリした話しぶりと教育の熱心さによつて忽ちの中に生徒達からクお姉様〳〵として特に慕われる様になつた。お熱を上げた者はその歯切れのよい東京弁を学校内に流行させていた。

一体に女学生には崇拝癖という々遠さかつて行つた。

この部屋は雨天体操場のはずれに出ばつた五坪程の小じんまりした職員室で、体操関係の教師三人が使用している。

あんなにグチつぽいと却つていじわるしたくなる、と思いながらわずにお姉様らしくしなくちやダメだわ。それに新しい主任の先生はお年を召していらして私よりもずつと好い方なんですから…。先生はいつまでもネチネチしている人は嫌いです、分るでしよう？」

生徒達はそれでも中々懲らない美子は一寸顔を厳しくして彼女達を押し出すとピチンと戸を閉めたガラス戸の外にたむろしてやゝ暫くエツエツ泣いていたが「冷たいワ」等と口々にさゝやきながら段々遠ざかつて行つた。

彼女は自席に腰かけて今度受持になつた五年C組の名簿を開いた。体操の時間で一通り皆の名前は知つていたが、その中に飛箱等よく見学している熊木弓子の名も見られる。

自分の女学生時代を振返つてみても、四年までは後一年あるとノンビリしていたが、いざ五年生になつてみるとその一年はまたゝく間に過ぎ去つてしまつた。大部分の者にとつてこの一年は学問をする最後の年だから、シツカリ身についたものを得させてやりたい。

二万に開かれた窓からは運動場全般が見渡せる様になつている。そこを今泣いていた生徒達がトボトボと帰つて行く。こうして眺めているとあんなにつれなく追い返したのが可哀想にもなる。視線を移して右手を見た。農具置場だつた小屋の中がいつの間にか片づけられ窓も開かれている。入口にかうつた真新しい木の札は辺りに映えて物置には不似合な程である。

「K先生、あの熊木干務所作業事務所つて何ですの？」

隣りの同僚に尋ねた。Kはこの学校の卒業生だが体専では美子の一年後輩である。

「アレ、今度の増築事務所なんでしよ」

「でも校舎の増築は五月頃から始まるつていう話だつたんじやないの？」

「サア、敷地の測量やら材木を運んで来たり色々な準備があるんじやないかしら」

「今度の増築では校長先生も大分奔走なさつた様だけど」

「本校の存立も危態にヒンするとか例の調子でやつたんでしようこれからの私立学校も中々大変だわ、生徒の負担も相当なものよ」

二人が話している後で突然ガタガタと入口の戸が鳴り出した。

「アラ、雨よ」

「アラ、ほんとだ」

「ア、雨だ」

「雨だ」

「雨だ」

「